

本格的な演劇に拍手喝采！

第一回岩手県高等学校春季演劇合同発表会

岩手県高等学校文化連盟演劇専門部・岩手県高等学校演劇協議会主催の第一回岩手県高等学校春季演劇合同発表会は3月27日から30日まで、さくらホール小ホールで行われました。春季全国高等学校演劇研究大会の北上開催に合わせ、全国の人に見てもらうために企画。北上からは黒沢尻北高校と北上翔南高校の演劇部が演技を披露し、観客を魅了しました。黒沢尻北高校の演劇を見に来た田中真理子さん(西和賀町)は「本格的な芝居で心に響くものがあった」と話していました。

「父と暮らせば」を演じた黒沢尻北高校演劇部の真嶋陽さん(左)と三原佳純さん(右)



かわいい踊りを披露してくれた立花保育園の園児たち

かわいい遊戯でまつり開催

北上展勝地さくらまつり

北上展勝地さくらまつり開催式は15日、展勝地桜並木入口で行われました。

高橋市長は「北上川から望む桜並木が特徴。ぜひ舟から見ていただきたい。桜並木を見た後は、陣ヶ丘や男山、みちのく民俗村や博物館などすみずみまで堪能してほしい」とあいさつ。桜のつぼみの下でテープカットが行われた後、川岸保育園と立花保育園の園児による踊りと歌が披露され、訪れた人は笑顔で拍手を送りました。さくらまつりは5月6日まで行われます。

こんどは家でも読んでね！

おはなし会

おはなし会は13日、中央図書館で行われました。これは市内のボランティア団体「十二支会(及川敦子会長)」が読み聞かせを行っているもので、図書館に来ていた親子連れ15人ほどが参加。この日は「アンパンマン」や「はらぺこあおむし」など5作品ほどの紙芝居や絵本の読み聞かせのほか、指人形を使ったおしゃべりがあり、子どもたちが指人形の会話を楽しみました。

おはなし会は、中央図書館では毎月、和賀と江釣子の図書館では隔月で開催されています。

お父さんやお母さんと一緒に読み聞かせに聞き入る子どもたち



補助金を活用し「りんごだいふく」を商品化した昆野広子さん

あぐり夢くちないに新商品

「りんごだいふく」新発売

新商品「りんごだいふく」の発表会は13日、口内町の産地直売所「あぐり夢くちない」で行われました。

同商品は、リンゴジャム(紅玉)と歯触りを残した煮りんご(フジ)を白あんに混ぜ、お餅でくるんだもの。りんご生産者の昆野広子さん(口内町)が、北上市6次産業化支援事業費補助金を活用して購入した餅つき機などを使い、自家生産した材料で商品化しました。昆野さんは「甘い中にりんごの酸味もあります。まずは食べてみてください」と呼び掛けていました。

口内にモンゴルゲルがきた モンゴルゲル設置イベント

NPO法人くちない主催のモンゴルゲル設置イベントは3月22日、くちないイベント広場(あぐり夢くちない南側)で行われました。

モンゴルゲルとは、モンゴルの遊牧民が使用する伝統的な移動式住居。同法人が総務省の過疎集落等自立再生対策事業を活用し、同広場に2基設置しました。今後同ゲルは、さまざまなイベントに使用しながら地域の魅力を広げていき、将来的には、滞在型施設としてグリーンツーリズムなどの活用を目指します。

直径約6メートルのゲル。壁となる部分には羊の皮でできた布を巻きます



感謝状を手にする菅谷さん。迅速な対応で延焼を食い止めました

迅速な初期消火で延焼防止 消防業務一般協力者表彰

北上地区消防組合は3月28日、迅速な119番通報と有効な初期消火を行った菅谷松蔵さん(更木)に対し、消防業務一般協力者として感謝状を贈りました。

3月10日午後1時30分ごろ更木19地割地内で火災が発生。その住宅に住む足の不自由な女性から連絡を受けた菅谷さんはすぐに駆け付け、直ちに消防署へ通報。その後、初期消火を行い延焼を防止しました。菅谷さんは「無我夢中で消火活動をした。大事に至らなくてよかった」と話していました。

百歳いつまでもお元気で！

高橋ウメノさん

下江釣子にお住まいの高橋ウメノさんが百歳を迎え16日、自宅に高橋市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。ウメノさんは大正3年4月16日、旧藤根村生まれ。18歳で故善一さんと結婚し、子7人をもうけ、孫15人、ひ孫26人、やしやご5人に恵まれています。笑顔を絶やさず周りを和やかにする温厚な性格。手先が器用で趣味の手芸や草取りをするほか、週3回のデイサービスが楽しみと話し「家族みんなによくしてもらってありがたい」と感謝していました。

子や孫などたくさんのお家族に囲まれ、祝福を受ける高橋さん(前列中央)



雪の中から顔をのぞかせるザゼンソウを見つけ写真を撮り、鑑賞を楽しむ皆さん

雪の中に見つけた小さな春 ざぜん草まつり

藤根自治振興会主催のざぜん草まつりは3月22日、和賀町藤根のざぜん草の里周辺で催されました。

積雪の影響で例年よりザゼンソウの開花が遅れたものの、家族連れなどが訪れ雪の中に咲いた花を鑑賞。ひつみの無料配布や鬼剣舞の公演のほか岩手大学農学部附属寒冷バイオフロンティア研究センターの伊藤菊一教授による講演などが行われました。春の訪れを写真に収めようと訪れた八重樫敏さん(81歳・藤沢)は「雪が多いので後日また来たい」と話していました。